

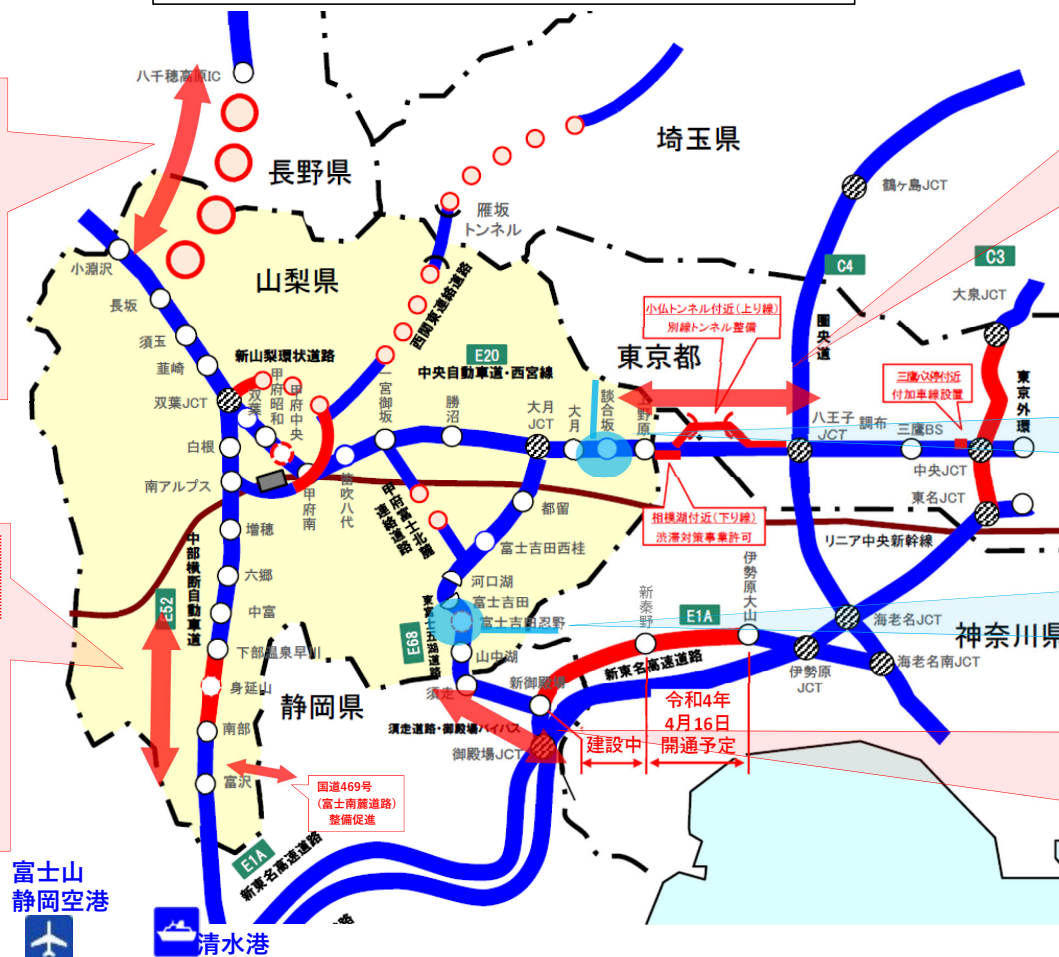
基幹対策

高速ネットワークの整備

◆災害時の避難・救援道路の確保等のため、広域道路及びスマートICの整備が必要

- ・ 県外とつながる 国道138号須走道路・御殿場バイパス [R3年4月]、中部横断自動車道・静岡・山梨間 [R3年8月]が全線開通
- ・ 中部横断自動車道（長坂・八千穂間）で環境影響評価の現地調査を実施中
- ・ 中央自動車道渋滞対策（小仏トンネル付近）付加車線設置事業を実施中
- ・ 談合坂スマートICではR2年5月供用開始
- ・ 富士吉田忍野スマートICではR4年夏供用予定

山梨県の広域道路ネットワーク図



**中部横断自動車道
(長坂～八千穂間)**
環境影響評価・
都市計画の手続きを推進中
⇒方法書の手続きが終了
「環境影響評価に関する
現地調査」を実施中

**中部横断自動車道
(静岡～山梨間)**
令和3年8月29日全線開通
⇒大雨、大雪、地震等の災害時に
リダンダンシーを確保する
「命の道」となる

**中央自動車道
(小仏トンネル付近)**
⇒付加車線設置事業を実施中
⇒令和3年3月新小仏トンネル
本体工事準備工着手

スマートIC
▶**談合坂スマートIC**
令和2年5月24日供用
⇒災害時の緊急避難・救援に寄与

▶**富士吉田忍野スマートIC**
令和4年夏供用予定
⇒富士山火山噴火等の
避難・救援に寄与

**国道138号
(須走道路・御殿場バイパス)**
令和3年4月10日開通
⇒大雨、大雪、噴火等の
災害発生時に
広域代替路となる

◆災害発生時にリダンダンシーを確保し、災害時の孤立を防ぐ

中部横断自動車道(山梨・静岡間)、国道138号(須走道路・御殿場バイパス)の2か所が全線開通

令和元年台風19号

- 令和元年台風19号の際には、県内各地で観測史上最大の総降水量を記録し、土砂崩落が多発。
- 東京方面の国道20号、中央自動車道、JR中央本線が同時に被災し、約1週間にとわたり大動脈が寸断。



【中央自動車道】



→東京方面との交通の生命線となり、リダンダンシーを確保

令和3年1月大雪

- 大雪により、県内各地で通行止めとなり、交通障害が発生。(令和3年1月の積雪時中央道が通行止め)



→中部横断自動車道による人流物流のルートを確認

首都直下地震

- 切迫する首都直下地震等の大規模地震発生時は広域な被災が想定され、復旧に際しては長期間を要す。



→被災が想定される首都圏への複数の救援物資輸送ルートを確認